

簡易取扱説明書 Deltapilot S FMB70

静圧レベル計測



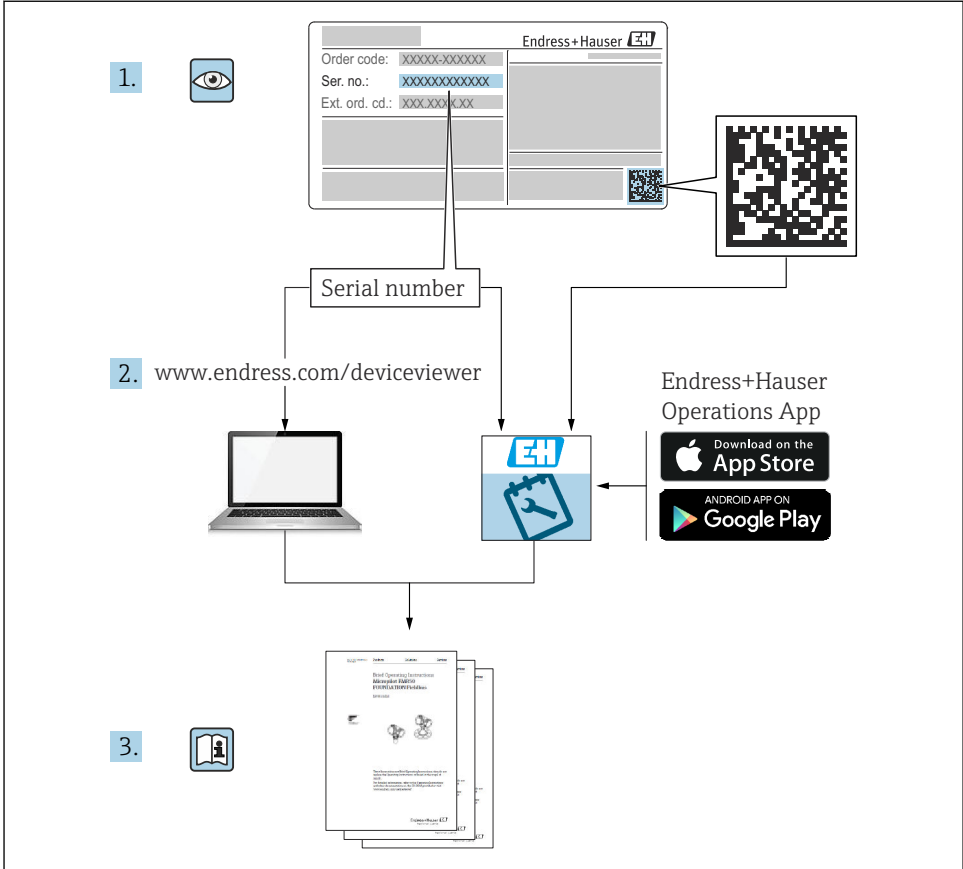
この簡易取扱説明書は、機器に関する取扱説明書の代替資料ではありません。

機器の詳細情報については、取扱説明書やその他の関連資料を参照してください。

すべての機器バージョンのこれらの資料は、以下から入手できます。

- インターネット：www.endress.com/deviceviewer
- スマートフォン/タブレット：Endress+Hauser Operations app

1 関連資料



A0023555

2 本説明書について

2.1 本文の目的

簡易取扱説明書には、納品内容確認から初回の設定までに必要なすべての情報が記載されています。

2.2 使用されるシンボル

2.2.1 安全シンボル

**危険**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。

**警告**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。

**注意**

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

**注記**

人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

2.2.2 電気シンボル



グラウンド接続

オペレータに関する限り、接地システムを用いて接地された接地端子

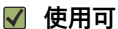
⊕ 保護接地 (PE)

その他の接続を行う前に接地端子の接地接続が必要です。

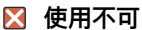
接地端子は機器の内側と外側にあります。

- 内側の接地端子：保護接地と電源を接続します。
- 外側の接地端子：機器とプラントの接地システムを接続します。

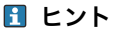
2.2.3 特定の情報や図に関するシンボル

**使用可**

許可された手順、プロセス、動作

**使用不可**

禁止された手順、プロセス、動作

**ヒント**

追加情報を示します。



資料参照



ページ参照



図参照



外観検査



注意すべき注記または個々のステップ

1, 2, 3, ...

項目番号

A, B, C, ...

図

2.3 登録商標

カルレッツ®

E.I. Du Pont de Nemours & Co., Wilmington, USA の商標です。

トリクランプ®

Ladish & Co., Inc., Kenosha, USA の商標です。

Gore-TEX®

W.L. Gore & Associates, Inc., USA の商標です。

FOUNDATION フィールドバスのインターフェース

FieldComm, Austin, USA の登録商標です。

3 安全上の基本注意事項

3.1 作業員の要件

作業員は、担当作業について以下の要件を満たす必要があります。

- ▶ 訓練を受けて資格を有する専門作業員：当該任務および作業に適した資格を取得していること
- ▶ プラント所有者/事業者から許可を与えられていること
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること
- ▶ 作業を開始する前に、機器の資料、補足資料、ならびに証明書（アプリケーションに応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと
- ▶ 指示に従い、基本条件を遵守すること

3.2 指定用途

Deltapilot S は、レベル測定および圧力測定用の静圧センサです。

3.2.1 不適切な用途

不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

不明な場合の確認：

- ▶ 特殊な液体および洗浄液に関して、Endress+Hauser では接液部材質の耐食性確認のサポートを提供いたしますが、保証や責任は負いかねます。

3.3 労働安全

機器を使用して作業する場合：

- ▶ 各地域/各国の規定に従って必要な個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電源電圧のスイッチを切ってから機器を接続します。

3.4 操作上の安全性

けがに注意！

- ▶ 適切な技術的条件/フェールセーフ条件下においてのみ、機器を操作してください。
- ▶ 事業者の責任において、機器を支障なく操作できる環境を整えてください。

機器の改造

無許可での機器の改造は、予測不可能な危険が生じる可能性があるため禁止されています。

- ▶ 改造が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、明確に許可された場合にのみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を順守してください。
- ▶ 弊社純正スペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

危険場所

危険場所（例：防爆、圧力容器安全）で機器を使用する場合、作業員やプラントの危険を防止するために以下の点に注意してください。

- ▶ ご注文の機器が危険場所で使用可能かどうかを銘板で確認してください。
- ▶ 本書に付随する別冊の補足資料の指示に従ってください。

3.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

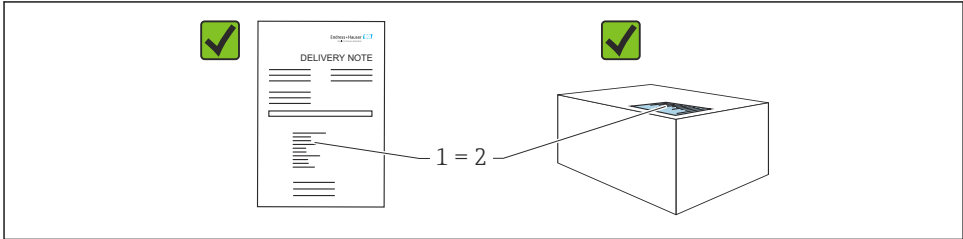
したがって、一般的な安全要件および法的要件を満たします。また、機器固有の EC 適合宣言に明記された EC 指令にも準拠します。Endress+Hauser は CE マークの貼付により、これを保証しています。

3.6 機能安全 (SIL3) (オプション)

機器を機能安全アプリケーションで使用する場合は、機能安全マニュアルを厳守する必要があります。

4 納品内容確認および製品識別表示

4.1 納品内容確認



A0016870

- 発送書類のオーダーコード (1) と製品ステッカーのオーダーコード (2) が一致するか？
- 納入品に損傷がないか？
- 銘板のデータがご注文の仕様および発送書類と一致しているか？
- ドキュメントはあるか？
- 必要に応じて (銘板を参照) : 安全上の注意事項 (XA) があるか？



これらの条件のいずれかを満たしていない場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

4.2 製品識別表示

機器は、次の方法で識別できます。

- 銘板に記載された仕様
 - 納品書に記載された拡張オーダーコード (機器仕様コードの明細付き)
- ▶ **W@M Device Viewer** (www.endress.com/deviceviewer) に銘板に記載されたシリアル番号を入力します。
- ↳ 機器に関するすべての情報および技術関連資料の一覧が表示されます。
- ▶ 銘板に記載されたシリアル番号を **Endress+Hauser Operations** アプリに入力するか、銘板上の 2-D マトリックスコードをカメラでスキャンします。
- ↳ 機器に関するすべての情報および技術関連資料の一覧が表示されます。

4.3 保管および輸送

4.3.1 保管条件

当社出荷時の梱包材をご利用ください。

計測機器を清潔で乾燥した環境で保管し、衝撃から生じる損傷から保護してください (EN 837-2)。

5 取付け

5.1 取付要件


5.1.1

寸法 → Deltapilot S の技術仕様書 (TI00416P) の「構造」セクションを参照してください。

5.1.2 全般的な設置指示

- G 1 1/2 ネジ込み接続機器：
機器をタンクにネジ留めする場合、プロセス接続のシール面にフラットシールを使用する必要があります。プロセスメンブレンに余分な張力がかからないように、ネジのシールには麻やそれと同等の材質を使用しないでください。
- NPT ネジ込み接続機器：
 - ネジの周囲にテフロンテープを巻いてシールを施してください。
 - 機器の六角ボルトのみを締め付けてください。ハウジングを回転させないでください。
 - ネジを締め付けすぎないようにしてください。最大締め付けトルク：
20～30 Nm (14.75～22.13 lbf ft)

5.2 機器の取付け

- Deltapilot S の取付方向が原因で、ゼロ点シフト（容器が空の場合に測定値表示がゼロ以外になる）が生じることがあります。このゼロ点シフトは、機器の  ボタンを使用して直接補正することができ、また、遠隔操作で補正することもできます。
- 現場表示器を最も見やすい位置に配置するために、ハウジングを最大 380° 回転させることができます。
- 現場表示器は 90° 単位で回転させることができます。
- Endress+Hauser では、機器をパイプまたは壁面に取り付けるための取付ブラケットを提供しています。

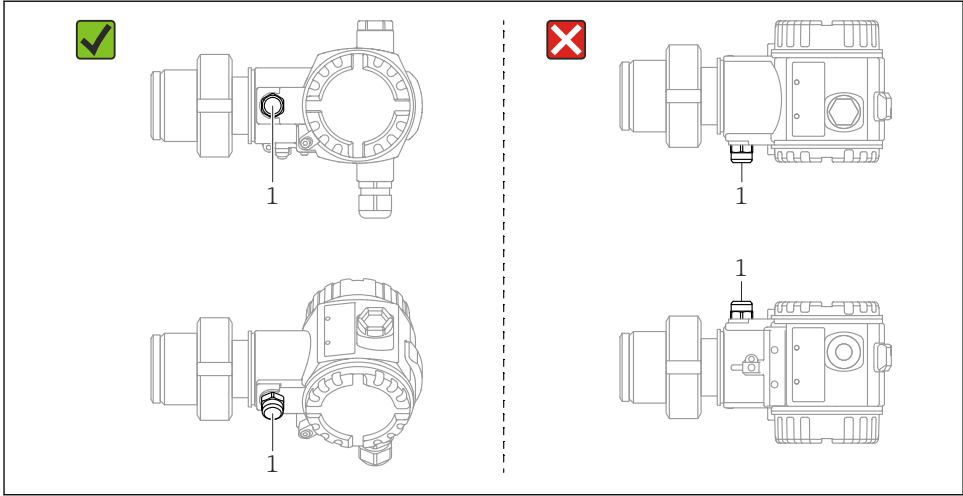
5.2.1 設置方法

注記

機器が損傷する可能性があります。

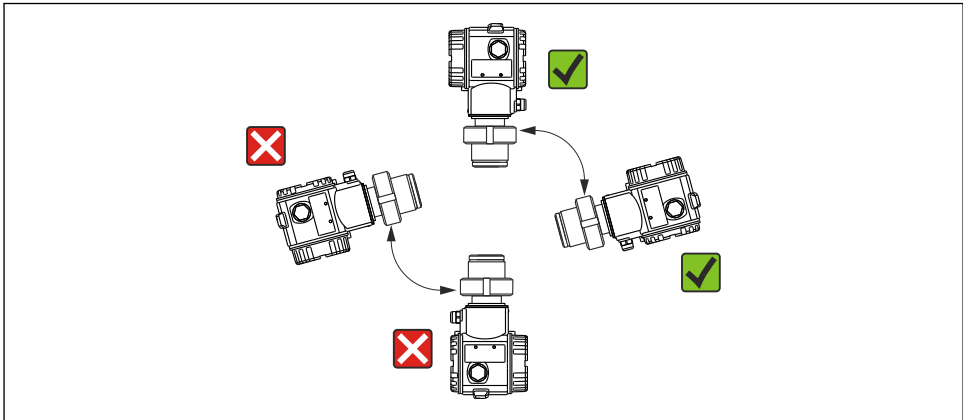
洗浄プロセスで（冷水などを使用して）加熱した機器を冷却すると、短時間、真空状態が生じるため、圧力補正要素 (1) からセンサに水分が侵入することがあります。

- ▶ 可能な限り、圧力補正要素 (1) が斜め下または側面を向く状態で機器を取り付けてください。



A0047494

- 圧力補正部分と GORE-TEX® フィルタ (1) が汚れたり、水に濡れたりしないようにしてください。
- 硬いものや鋭利なものでプロセスメンブレンを触ったり、洗浄したりしないでください。
- 機器は ASME-BPE (パート SD 洗浄能力) の洗浄能力要件に適合するよう、以下のように設置する必要があります。



A0031805

レベル測定

- 機器は必ず、最も低い測定点より下に設置します。
- 次の場所への機器の設置は避けてください。
 - 投入カーテン
 - タンク排出口
 - ポンプの吸引領域
 - 攪拌器からの圧脈の影響を受ける可能性があるタンク内の位置
- 遮断機器の下流側に機器を取り付けると、調整や機能テストを実施しやすくなります。
- 低温時に硬化する可能性のある測定物を使用する場合、Deltapilot S を断熱する必要があります。

気体の圧力測定

復水がプロセス内に流れるように、タッピングポイントより上に Deltapilot S と遮断機器を取り付けてください。

蒸気中の圧力測定

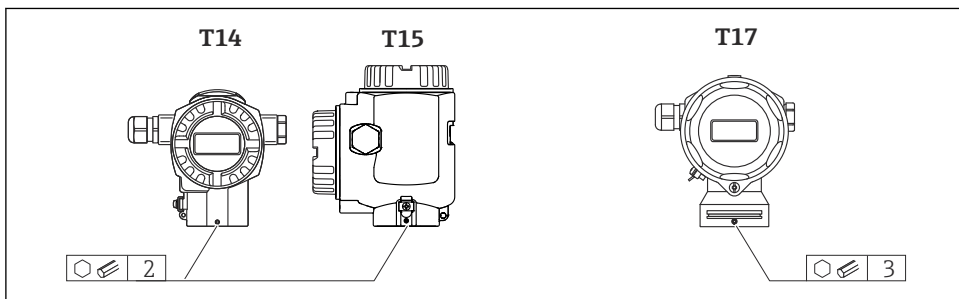
- タッピングポイントより上に Deltapilot S とサイフォン管を取り付けてください。
- 試運転前にサイフォン管を液体で満たしてください。サイフォン管のパイプによって温度はほぼ周囲温度まで低下します。

液体の圧力測定

タッピングポイントより下側または同じレベルに Deltapilot S と遮断機器を取り付けてください。

5.2.2 ハウジングの回転

ハウジングは止めネジを緩めることにより、最大 380° 回転させることができます。



A0019996

1. T14 および T15 ハウジング : 2 mm (0.08 in) 六角レンチを使用して、止めネジを緩めます。T17 ハウジング : 3 mm (0.12 in) 六角レンチを使用して、止めネジを緩めます。
2. ハウジングを回転させます (最大 380°)。
3. 1 mm (0.74 lbf ft) 1 Nm (0.74 lbf ft) のトルクで止めネジを再び締め付けます。

5.2.3 ハウジングカバーの密閉

注記

EPDM カバーシール付き機器 - 伝送器の漏れに注意してください。

鉱物由来、動物由来、または植物由来の潤滑剤により EPDM カバーシールが膨張し、伝送器に漏れが発生する可能性があります。

▶ ネジは工場出荷時にコーティングが施されているため、潤滑は不要です。

注記

ハウジングの密閉性が保たれません。

ネジの破損！

▶ ハウジングカバーを閉じる場合は、カバーおよびハウジングのネジに砂などの汚れが付着していないことを確認してください。カバーを閉じるときに抵抗を感じた場合は、ネジに汚れがないことを再度確認してください。

サニタリ用ステンレス製ハウジング (T17) のカバーの密閉

いずれの場合も端子室と電子回路部のカバーをハウジングにかぶせ、ネジで留めます。このネジは、カバーが確実に固定され、密閉されるまで手でしっかりと締めます (2 Nm (1.48 lbf ft) のトルク)。

6 電気接続

6.1 接続要件

⚠ 警告

感電の危険性があります。

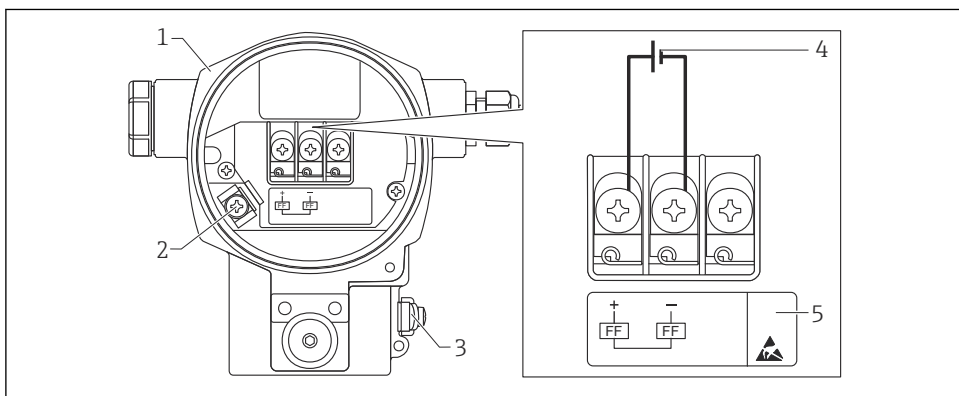
動作電圧が DC 35 V を超える場合：端子に危険な接触電圧が存在します。

▶ 湿潤環境では、電圧がかかっている場合はカバーを開けないでください。

警告

接続を適切に行わないと、電気の安全性が損なわれます。

- ▶ 感電および/または爆発の危険性があります。電源を切ってから機器を接続してください。
- ▶ 危険場所で計測機器を使用する場合、適用される国内規格および規制、安全上の注意事項または設置/制御図に従って設置する必要があります。
- ▶ 過電圧保護機能付きの機器は接地する必要があります。
- ▶ 逆接、高周波数の影響、サージ電圧に対する保護回路が搭載されています。
- ▶ 供給電圧が銘板の電源仕様と一致している必要があります。取扱説明書を参照してください → 図 2。
- ▶ 接続する前に電源のスイッチをオフにします。
- ▶ 端子室のハウジングカバーを取り外します。
- ▶ ケーブルをグランドに通します。シールド付き 2 芯ツイストケーブルの使用をお勧めします。
- ▶ 図面に従って機器を接続します。
- ▶ ハウジングカバーをネジ留めします。
- ▶ 電源のスイッチをオンにします。

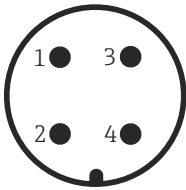


A0047210

図 1 FOUNDATION フィールドバスの電気接続

- 1 ハウジング
- 2 内部の接地端子
- 3 外部の接地端子
- 4 最小電源電圧（非危険場所バージョン）= 9~32 V DC
- 5 過電圧保護内蔵の機器には、ここに「OVP」（過電圧保護）のラベルが付いています。

6.1.1 7/8" プラグ付き機器の接続

	ピン	
	1	信号 -
	2	信号 +
	3	未使用
	4	接地

A0011176

6.2 計測機器の接続

ネットワーク構築と接地の詳細、およびバスケーブルなどのバスシステムコンポーネントの詳細については、取扱説明書「FOUNDATION フィールドバスの概要」(BA00034S) や FOUNDATION フィールドバスガイドラインなどの関連資料を参照してください。

6.2.1 電源電圧

非危険場所用バージョン : DC 9~32 V

▲ 警告

通電している可能性があります。

感電および/または爆発の危険性があります。

- ▶ 危険場所で計測機器を使用する場合、適用される国内規格および規制、安全上の注意事項または設置/制御図に従って設置する必要があります。
- ▶ すべての防爆データは個別の防爆資料に記載されており、ご要望に応じて入手可能です。防爆資料は、危険場所での使用が認可されたすべての機器に標準で付属します。

6.2.2 消費電流

15.5 mA ± 1 mA、スイッチオン電流は IEC 61158-2、Clause 21 に準拠

6.2.3 端子

- 電源および内部の接地端子 : 0.5~2.5 mm² (20~14 AWG)
- 外部の接地端子 : 0.5~4 mm² (20~12 AWG)

6.2.4 ケーブル仕様

- シールド付き 2 芯ツイストペアケーブルの使用をお勧めします。
- ケーブル直径 : 5~9 mm (0.2~0.35 in)

ケーブル仕様の詳細については、取扱説明書「FOUNDATION フィールドバスの概要」(BA00034S)、FOUNDATION フィールドバスガイドライン、IEC 61158-2 (MBP) を参照してください。

6.2.5 アースと遮蔽

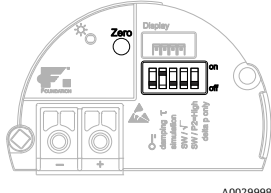
Deltapilot S は、外部の接地端子などを使用して接地する必要があります。

FOUNDATION フィールドバスネットワークで可能なアースと遮蔽には、以下のような方法があります。

- 絶縁設置 (IEC 61158-2 も参照)
- 複数アースによる設置
- 静電容量設置

7 操作オプション

7.1 操作メニューを使用しない操作

操作オプション	説明	図	説明
現場操作 (機器ディスプレイなし)	エレクトロニックインサート上の操作キーおよび DIP スイッチを使用して機器を操作します。		→ 2

7.1.1 操作部の位置

アルミニウムハウジング (T14/T15) およびステンレスハウジング (T14) の場合、操作キーは機器外部の保護フラップの下、または内部のエレクトロニックインサート上に配置されています。サニタリ仕様のステンレスハウジング (T17) の場合、操作キーは内部のエレクトロニックインサート上に配置されています。さらに、現場表示器 (オプション) にも操作キーがあります。

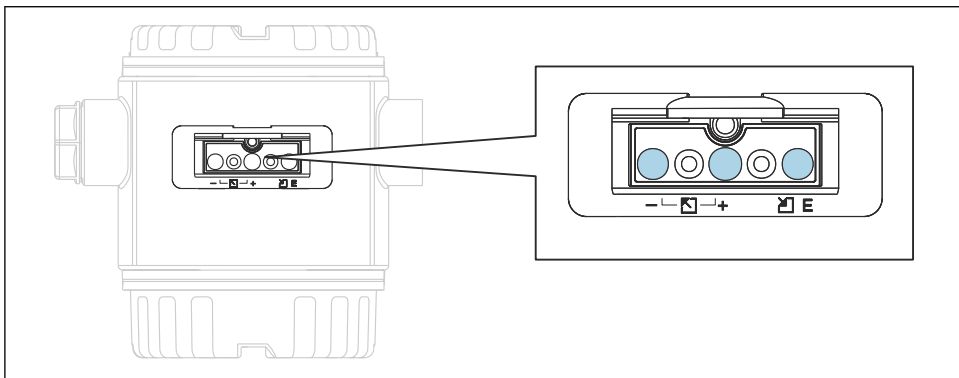
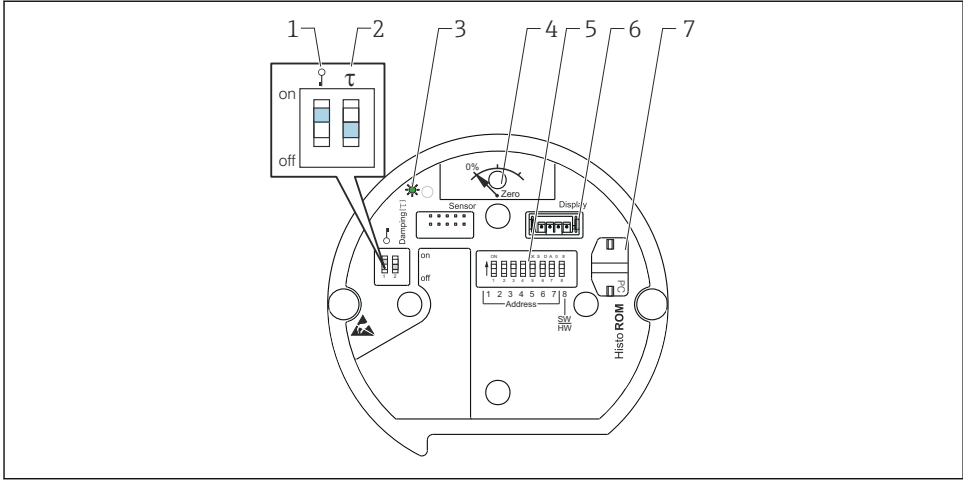


図 2 操作キー、外部

A0016499


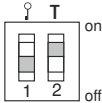


A0020032

- 1 測定値に関するパラメータのロック/ロック解除用 DIP スイッチ
- 2 ダンピングのオン/オフ切り替え用 DIP スイッチ
- 3 入力完了表示用の緑色 LED
- 4 位置補正および機器リセット用ボタン
- 5 バスアドレス設定用 DIP スイッチ
- 6 オプションディスプレイ用コネクタ
- 7 オプション HistoROM®/M-DAT 用コネクタ

DIP スイッチの機能

対応する機能を実行するには、キーまたはキーの組み合わせを 3 秒以上押します。リセットする場合は、キーの組み合わせを 6 秒以上押してください。

	意味
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 位置補正 (ゼロ点補正): キーを 3 秒以上押します。位置補正用に印加された圧力が承認された場合、エレクトロニックインサートの LED が短時間点灯します。 ■ トータルリセット: キーを 12 秒以上押します。リセットの実行中は、エレクトロニックインサートの LED が短時間点灯します。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ DIP スイッチ 1: 測定値に関連するパラメータをロック/ロック解除します。初期設定: オフ (ロック解除) ■ DIP スイッチ 2: ダンピングのオン/オフを切り替えます。初期設定: オン (ダンピング: オン)

7.1.2 FOUNDATION フィールドバスのインターフェース

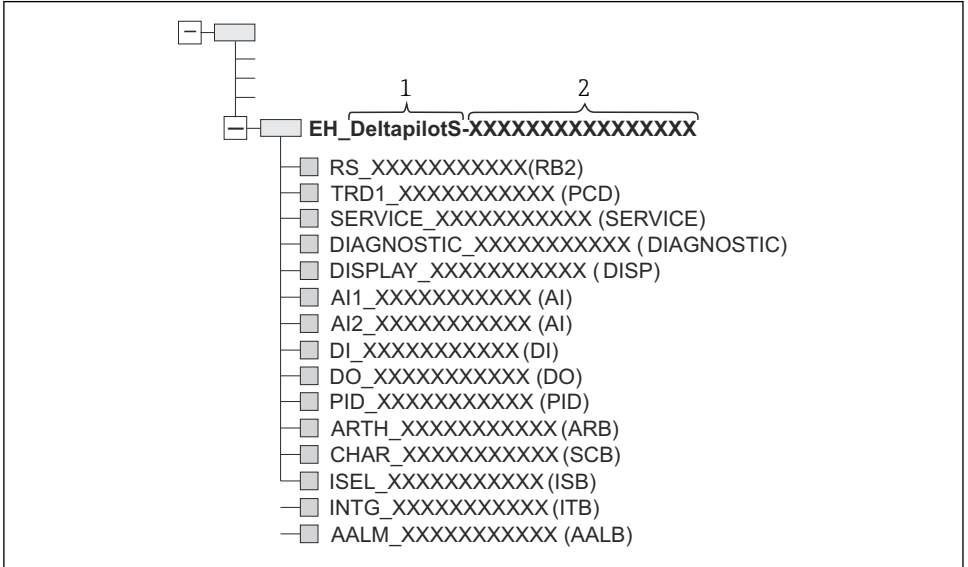
機器の識別およびアドレス指定

FOUNDATION フィールドバスは、ID コードを使用して機器を識別し、適切なフィールドアドレスを自動的に割り当てます。ID コードは変更できません。FF 設定プログラムを起

動して機器をネットワークに統合すると、その機器はネットワーク表示ディスプレイに表示されます。使用可能なブロックが機器名の下に表示されます。

機器説明がロードされていない場合、ブロックには「不明」または「(UNK)」と表示されます。

Deltapilot S S は以下のように表されます。



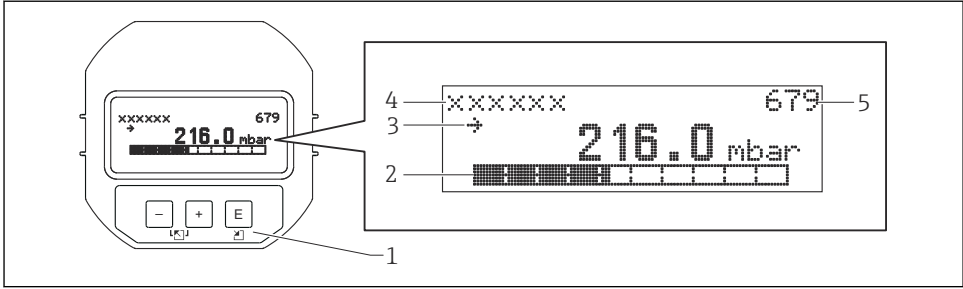
A0048530

7.2 機器ディスプレイ (オプション) による操作

表示/操作には 4 行の液晶ディスプレイ (LCD) を使用します。現場表示器は、測定値、ダイアログテキスト、エラーメッセージ、および通知メッセージを表示します。機器のディスプレイは、90°単位で回転させることができます。このため、機器の取付位置に関係なく機器を容易に操作して、測定値を読み取ることができます。

機能：

- 8 桁の測定値表示部 (符号、小数点、単位、バーグラフ (電流値表示) などを表示)
- パラメータがいくつかのレベルとグループに分かれているため、シンプルにまとまったメニュー式ガイダンス
- 各パラメータに 3 桁の ID 番号が割り当てられているため、ナビゲーションが容易
- 個々のニーズに応じた表示設定が可能 (言語、表示切替え、センサ温度などの他の測定値の表示、コントラスト設定など)
- 包括的な診断機能 (エラー/警告メッセージ、最大値/最小値表示など)
- クイックセットアップメニューによる迅速かつ安全な試運転調整









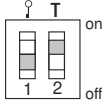
A0016498

以下の表は、現場表示器に表示されるシンボルを示します。4つのシンボルが同時に表示されることもあります。

シンボル	意味
	アラームシンボル <ul style="list-style-type: none"> ■ シンボルの点滅：警告。機器は測定を継続します。 ■ シンボルの常時点灯：エラー。機器は測定を停止します。 注意：アラームシンボルは傾向シンボルの上に重なって表示される場合があります。
	ロック記号 機器の操作がロックされています。機器をロック解除すると、このシンボルは表示されなくなります。
	通信記号 通信によるデータ送信
	傾向シンボル（増加） 測定値が増加しています。
	傾向シンボル（減少） 測定値が減少しています。
	傾向シンボル（一定） 数分間にわたり、測定値が一定の値を保持しています。

7.2.1 ディスプレイおよび操作モジュール上の操作キー

操作キー	意味
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選択項目が上方向へ移動 ■ パラメータ数値の入力
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選択項目が下方向へ移動 ■ パラメータ数値の入力
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入力値の確定 ■ 次の項目にジャンプ

操作キー	意味
 + 	現場表示器のコントラスト設定：暗くする
 + 	現場表示器のコントラスト設定：明るくする
 + 	<p>ESC (エスケープ) 機能：</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更した値を保存せずに編集モードを終了 機能グループのメニュー内：初めてこれらのキーを同時に押した場合、機能グループ内の1つ前のパラメータに戻る。以降は、これらのキーを同時に押すたびに、メニューの1つ上のレベルに移動する。 選択レベルのメニュー内：これらのキーを同時に押すたびに、メニューの1つ上のレベルに移動 <p>注意：機能グループ、レベル、選択レベルなどの用語については、「メニュー構造」を参照してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> DIP スイッチ 1：測定値に関連するパラメータをロック/ロック解除します。初期設定：オフ（ロック解除） DIP スイッチ 2：シミュレーションモード用、初期設定：オフ（シミュレーションモードオフ）

7.2.2 操作例：選択リストのパラメータ

例：メニューの言語として「ドイツ語」を選択

言語	000	操作
1	<input checked="" type="checkbox"/> English (英語) <input type="checkbox"/> Deutsch (ドイツ語)	<p>メニュー言語として「英語」が設定されています (デフォルト値)。 メニューテキストの前に表示される <input checked="" type="checkbox"/> がアクティブなオプションを示します。</p>
2	<input type="checkbox"/> Deutsch (ドイツ語) <input checked="" type="checkbox"/> English (英語)	<p><input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を使用してドイツ語を選択します。</p>
3	<input checked="" type="checkbox"/> Deutsch (ドイツ語) <input type="checkbox"/> English (英語)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> を選択して確定します。メニューテキストの前に表示される <input checked="" type="checkbox"/> がアクティブなオプションを示します (現在、メニュー言語としてドイツ語が選択されています)。 <input type="checkbox"/> を使用してパラメータの編集モードを終了します。

7.2.3 操作例：ユーザー定義可能なパラメータ

例：「URV 設定 (014)」パラメータを 10 kPa (1.5 psi) から 5 kPa (0.75 psi) に設定

メニューパス：セットアップ → 拡張セットアップ → 出力電流 → URV 設定

	URV 設定	014	操作
1	<input type="text" value="1 0 0 . 0 0 0"/>	mbar	現場表示器には、変更するパラメータが表示されます。「mbar」単位は別のパラメータで設定されるため、ここでは変更できません。
2	<input type="text" value="1 0 0 . 0 0 0"/>	mbar	⊞ または ⊞ キーを押して編集モードを開始します。最初の 1 桁が黒に反転表示されます。
3	<input type="text" value="5 0 0 . 0 0 0"/>	mbar	⊞ キーを使用して「1」から「5」に変更します。 ⊞ キーを押して「5」を確認します。カーソルが次の位置に移動します (黒の反転表示部分)。 ⊞ で「0」を確認します (2 番目の位置)。
4	<input type="text" value="5 0 0 . 0 0 0"/>	mbar	第 3 桁が黒に反転表示され、編集可能となります。
5	<input type="text" value="5 0 ◀ . 0 0 0"/>	mbar	⊞ キーを使用して「◀」シンボルに変更します。 ⊞ キーを使用して新しい値を保存し、編集モードを終了します。次の図を参照してください。
6	<input type="text" value="5 0 . 0 0 0"/>	mbar	新しい測定レンジ上限値は 5 kPa (0.75 psi) です。 ⊞ を使用してパラメータの編集モードを終了します。 ⊞ または ⊞ を使用すると、編集モードに戻ることができます。

7.2.4 操作例：印加圧力の承認

例：ゼロ点補正の設定

メニューパス：メインメニュー → セットアップ → ゼロ点補正

	ゼロ点補正	007	操作
1	✓ 中止、次へ 確定		ゼロ点補正用の圧力が機器に印加されています。
2	中止、次へ ✓ 確定		⊞ または ⊞ を使用して、「確定」オプションに切り替えます。アクティブなオプションが黒に反転表示されます。
3	補正が承認されました。		⊞ キーを使用して、位置補正用の印加圧力を承認します。機器は補正を確定し、「ゼロ点補正」パラメータに戻ります。
4	✓ 中止、次へ 確定		⊞ を使用してパラメータの編集モードを終了します。

8 設定

機器は、標準で「圧力」測定モードに設定されています。測定範囲および測定値の伝送単位は、銘板のデータと一致します。

警告

許容プロセス圧力を上回らないようにしてください。

部品が破裂した場合のけがに注意！圧力が高すぎる場合、警告が表示されます。

- ▶ 機器に最大許容圧力より高い圧力が表示されている場合、「E115 センサ過圧」および「E727 センサ圧力エラー-範囲超過」のメッセージが連続して表示されます。センサ範囲限界内でのみ機器を使用してください。

注記

許容プロセス圧力を下回らないようにしてください。

圧力が低くなりすぎるとメッセージが表示されます。

- ▶ 機器に最小許容圧力より低い圧力が表示されている場合、「E120 センサ圧低」および「E727 センサ圧力エラー-範囲超過」のメッセージが連続して表示されます。センサ範囲限界内でのみ機器を使用してください。

8.1 メッセージの設定

- E727、E115、および E120 は「エラー」タイプのメッセージであり、「警告」または「アラーム」として設定できます。これらのメッセージの初期設定は「警告」です。この設定により、ユーザーがセンサ範囲の超過を意図的に承認するアプリケーション（例：カスケード測定）において、電流出力がアラーム電流の設定値を取ることを回避できます。
- 次の場合には、メッセージ E727、E115、および E120 を「アラーム」に設定することをお勧めします。
 - 測定アプリケーションにおいてセンサ範囲を超過する必要がない場合
 - 位置補正を実施して、機器（ダイアフラムシール付きの機器など）の取付方向に起因して生じた大きな測定誤差を補正する必要がある場合

8.2 言語および測定モードの選択

8.2.1 現場操作

測定モードパラメータは、最上位の選択レベルに配置されています。

次の測定モードを使用できます。

- 圧力
- レベル

8.3 位置補正

機器の取付方向が原因で、測定値のシフト（容器が空または一部充填の場合に測定値表示がゼロ以外になる）が生じることがあります。位置補正を実行するには、以下の2つの方法があります

- 現場表示器のメニューパス：
グループセレクション → 操作メニュー → セッティング → 位置補正
- FieldCare のメニューパス：
操作メニュー → セッティング → 位置補正

8.3.1 現場表示器または FieldCare を使用した位置補正の実行

以下の表のパラメータは位置補正グループにあります（メニューパス：操作メニュー → セッティング → 位置補正）。

パラメータ名	説明
ゼロ点補正（入力項目）	<p>ゼロ点補正 - ゼロ（設定値）と測定圧力間の差圧は既知である必要はありません。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「測定値」 = 0.22 kPa (0.032 psi) ■ 「ゼロ点補正」パラメータで「確定」を選択して「測定値」を補正します。これは、表示された圧力に値 0.0 を割り当てることを意味します。- 「測定値」（ゼロ点補正後） = 0 kPa ■ 電流値も補正されます。 <p>「オフセット校正」パラメータでは「測定値」が補正されることによって生じた差圧を表示します。</p> <p>初期設定： 0.0</p>
位置補正入力（入力項目）	<p>ゼロ点補正 - ゼロ（設定値）と測定圧力間の差圧は既知である必要はありません。差圧を補正するには、（基準機器などの）基準測定値が必要です。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「測定値」 = 0.05 kPa (0.0073 psi) ■ 「位置補正入力」パラメータでは、「測定値」に必要な設定値を指定します（例：0.2 kPa (0.029 psi)）（「測定値 new」 = 「位置補正入力」となります）。 ■ 「位置補正入力」パラメータでは、「測定値」に必要な設定値を指定します（例：0.2 kPa (0.029 psi)）（「測定値 new」 = 「位置補正入力」となります）。 ■ 「オフセット校正」パラメータでは「測定値」が補正されることによって生じた差圧を表示します。「オフセット校正」 = 「測定値 old」 - 「位置補正入力」となり、この例では、「オフセット校正」 = 0.05 MPa (0.0073 psi) - 0.2 MPa (0.029 psi) = 0.15 MPa (0.022 psi) となります。 <p>初期設定： 0.0</p>
オフセット校正（入力項目）	<p>位置補正 - ゼロ（設定値）と測定圧力間の差圧は既知であることが必要です。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「測定値」 = 0.22 kPa (0.032 psi) ■ 「オフセット校正」パラメータを使用して、「測定値」で補正する分の値を入力します。「測定値」を 0 kPa に補正するには、ここに値「2.2」を入力する必要があります（「測定値 new」 = 「測定値 old」 - 「オフセット校正」となります）。 ■ 「測定値」（オフセット校正入力後） = 0 kPa <p>初期設定： 0.0</p>

8.4 圧力測定

8.4.1 圧力測定に関する情報

- 「圧力」と「レベル」の両方の測定モードでクイックセットアップメニューを使用できるため、最も重要な基本機能を容易に実行できます。測定モードパラメータの設定を使用して、表示するクイックセットアップメニューを指定します。「言語および測定モードの選択」セクションも参照してください → 図 19。
- パラメータの詳細については、取扱説明書「Cerabar S/Deltabar S/Deltapilot S、機能説明書」(BA00303P) の以下を参照してください。
 - FOUNDATION フィールドバス：表、圧力伝送器ブロック
 - FieldCare：表、位置補正
 - FieldCare：表、基本セットアップ
 - FieldCare：表、拡張セットアップ

警告

測定モードを変更すると、スパン (URV) が影響を受けます。

これにより製品のオーバーフローが発生する可能性があります。

- ▶ 測定モードを変更した場合は、スパン設定 (URV) を操作メニュー「セッティング→基本設定」で確認し、必要に応じて再設定してください。

8.5 クイックセットアップメニュー：「圧力」測定モード

現場操作	FieldCare
測定値表示 回を使用して、測定値表示から「グループセレクション」に切り替えます。	測定値表示 「クイックセットアップ」メニューを選択します。
グループセレクション 「測定モード」パラメータを選択します。	測定モード 「第1の値タイプ」パラメータを選択します。
測定モード 「圧力」を選択します。	第1の値タイプ 「圧力」を選択します。
グループセレクション 「クイックセットアップ」メニューを選択します。	
ゼロ点補正 機器の方向によっては測定値が変動することがあります。「ゼロ点補正」パラメータで「確定」を選択して「測定値」を補正します (印加されている圧力に値「0.0」を割り当てます)。	ゼロ点補正 機器の方向によっては測定値が変動することがあります。「ゼロ点補正」パラメータで「確定」を選択して「測定値」を補正します (印加されている圧力に値「0.0」を割り当てます)。
ダンピング値 ダンピング時間 (時定数) を入力します。ダンピングは、後続のすべての要素 (現場表示器、測定値、アナログ流入ブロックの流出値など) が圧力変化に反応する速度に影響を与えます。	ダンピング値 ダンピング時間 (時定数) を入力します。ダンピングは、後続のすべての要素 (現場表示器、測定値、アナログ流入ブロックの流出値など) が圧力変化に反応する速度に影響を与えます。



71570651

www.addresses.endress.com
